

関西聚 活動報告書

活動名： 自然学習ゾーン活動 活動日：2018. 4. 22（日）13：30～15：40

リーダー名：伊東 俊廣

報告者：伊東 俊廣

参加者：

スタッフ：大川 英登・上田 泰史、山本 勲・林 俊・小久保 広宣・伊東 俊廣

参加者：11名（敬称略） 辰川 由理（叶多）、春園 まりあ（ちから）、島田 かよこ（ともき）、松浦 まゆみ（かいと、かな）、しなの こうせり（しおり）

久宝寺：魚谷 昌充

4月22日（日）の活動内容

1. カブトムシの幼虫確認及び一部の幼虫を寝床へ移動（スタッフ全員、参加者、魚谷）
 - 1) カブトムシの飼育箱の幼虫の個体数確認：36匹
 - 2) 交野近郊由来のカブトムシ幼虫（寄付を受けた）の個体数確認：19匹
 - 3) 飼育箱の堆肥を新しい堆肥と交換し、幼虫を戻した
 - ・飼育箱に戻した幼虫は、19匹+21匹で40匹
 - 4) 飼育箱由来の幼虫15匹を寝床NO. 2の堆肥の中に移動した。寝床の堆肥を掘り返した時、1匹の幼虫が見つかった。他の場所にもいると思われ、寝床の中でもカブトムシの幼虫が育っていることが判明した。
2. 生き物調査
 - 1) 昆虫調査（大川）：18種（これまでより新しく3種追加）
 - 2) 草本調査（上田）：40種
3. 昆虫保護ゾーンの外来植物の除去（山本、林、小久保、伊東、魚谷）
 - ・昆虫保護ゾーンのセイタカアワダチソウ、オオスズメノカタビラを中心に根から除去した。除去した草は、布袋4つで軽トラックに載せてバックヤードへ移動。
 - 使用した道具は、鍬と鎌で、全体の約1/5程度を作業した。

活動報告・次回案内・感想など

カブトムシの確認作業は子供たちが中心になって行った。大きな幼虫がごろごろ出て来てみんな大興奮。堆肥と一緒にそうーと持ち運んでくれと何回注意したことが。子供たちの情操教育に役立ったのは有難いが、幼虫にとっては災難だったかもしれない。寝床の幼虫も確認出来、7月の放虫が楽しみだ。

昆虫保護ゾーンの除草は暑い中、重労働だったが、終了近く在来種のカモジグサも抜いていたことが判明した。最初の指示が不正確で、作業してくれた方には大変申し訳ない。次回の反省とします。

次回の活動は

平成30年5月27日（日）

活動写真



幼虫の確認 1



幼虫の確認 2



幼虫の確認 3



幼虫の追加



堆肥の入替え



幼虫を戻す



寝床に放虫 1



寝床に放虫 2



昆虫保護エリア除草前 1



昆虫保護エリア除草前 2



昆虫保護エリア除草後 1



昆虫保護エリア除草後 2

活動写真



寝床 2 で確認した幼虫



寝床 2 確認作業



寝床 2 作業完了



作業終了！

❁ たくさんのご参加、ありがとうございました！

※ブラウザを閉じてお戻りください☆